

事務事業評価シート（1/2）

1頁
平成30年 8月 7日
08時54分58秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001404010 区画整理課事業管理係
事務事業 02287 桜井区画整理事業特別会計繰出事務

所属長名 香村正志
担当者 杉浦庄太郎
電話番号 0566-71-2246

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画		
5Kの分類	003 経済		
項目（施策）	004 10都市基盤（市街地）		
施策の方針	005 地域拠点（名鉄桜井駅周辺）の整備促進		
事務事業	001 桜井区画整理事業特別会計繰出事務		
事業期間	平成11年度～平成36年度	26年間	
実施方法	直営		
会計区分	一般会計	事業区分	政策的
健全事業	まちづくり	マニフェスト	性質別費目
根拠法令等			
備考			

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業の事業費の一部を一般会計が負担し、資金収支の均衡を図ります。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	0	619,137	924,593
事業費	0	618,192	923,648
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	389,329	605,240
その他	0	100,417	144,371
一般財源	0	128,446	174,037
人件費計	0	945	945
正規（人）	0.00	0.15	0.15
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		一般会計から安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業特別会計への繰り出し事務	一般会計から安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業特別会計への繰り出し事務

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001404010 区画整理課事業管理係
事務事業 02287 桜井区画整理事業特別会計繰出事務

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が施行者に対し、行うべき事務です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	3
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市が施行者に対し、行うべき事務です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	正確、迅速な事務処理に努め、人件費削減を図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	事業計画における資金計画に基づき操出金額を決定しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	事業計画における資金計画に基づき事務を進めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
平成30年 8月 7日
08時54分58秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001404010 区画整理課事業管理係
事務事業 02288 桜井区画整理事業債償還事務（元金・利子）

所属長名 香村正志
担当者 杉浦庄太郎
電話番号 0566-71-2246

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	003	経済			
項目（施策）	004	10都市基盤（市街地）			
施策の方針	005	地域拠点（名鉄桜井駅周辺）の整備促進			
事務事業	002	桜井区画整理事業債償還事務（元金・利子）			
事業期間	平成11年度～平成36年度	26	年間		
実施方法	直営				
会計区分	桜井区画整理特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業に係る経費から国庫補助金等の特定財源を除いた地方負担額のうち、不足する財源を地方債により借入れをします。その借入れした資金に係る元金・利子を償還計画に基づき償還します。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	224,594	218,925
事業費	0	223,649	217,980
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	223,649	217,980
人件費計	0	945	945
正規（人）	0.00	0.15	0.15
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		地方債からの不足財源の借入れ、及び償還計画に基づいた元金・利子の償還事務	地方債からの不足財源の借入れ、及び償還計画に基づいた元金・利子の償還事務

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001404010 区画整理課事業管理係
事務事業 02288 桜井区画整理事業債償還事務(元金・利子)

上段: 目標値 下段: 実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	事業において借り入れした資金の償還事務です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	3
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	事業を進める上で必要な事務です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	借入先金融機関は入札により決定しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	借入先金融機関は入札により決定しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	土地区画整理事業債は、保留地処分による収支が可能となるまでの財源不足を補う「つなぎ資金」ですので、新規発行債を抑制するため、より多くの保留地を処分できるよう努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
平成30年 8月 7日
08時55分18秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001404020 区画整理課工務係
事務事業 02285 桜井施設整備事業

所属長名 香村正志
担当者 辰田謙一郎
電話番号 0566-71-2246

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画				
5Kの分類	003 経済				
項目（施策）	004 10都市基盤（市街地）				
施策の方針	005 地域拠点（名鉄桜井駅周辺）の整備促進				
事務事業	004 桜井施設整備事業				
事業期間	平成11年度～平成36年度	26年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	桜井区画整理特会	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業	まちづくり	マニフェスト	○	地方創生	定住・移住促進
根拠法令等	土地区画整理法、大都市法、市条例（施行規程）				
備考					

【事業分析】

対象	桜井駅周辺地域の土地利用が
目的	利用増進することができるようになります。
手段	土地区画整理事業により、本市南部の地域拠点として位置付けられた桜井駅周辺の都市基盤整備を行い、安全で快適な住環境を備えた市街地を創出します。
事務内容	桜井区画整理事業の工事に関する計画・施行管理、工事設計及び測量等の事務

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	439,402	581,801
事業費	0	404,752	546,521
国庫支出金	0	116,472	189,680
県支出金	0	450	11,250
地方債	0	33,390	0
その他	0	123,889	164,970
一般財源	0	130,551	180,621
人件費計	0	34,650	35,280
正規（人）	0.00	5.50	5.60
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		（実績） 道路築造整備延長 L=1947.9m 排水路築造整備延長 L=134m 整地整備面積 A=21,151㎡	（計画） 道路築造整備延長 L=1202.0m 排水路築造整備延長 L=185m 整地整備面積 A=26,900㎡

事務事業評価シート（2/2）

2頁
平成30年 8月 7日
08時55分18秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001404020 区画整理課工務係
事務事業 02285 桜井施設整備事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
道路築造率（道路築造済延長÷道路総延長×100）	%	0.00 0.00	85.30 84.50	89.60 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	事業計画で安城市が施行者に定められています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	工事等を行い基盤整備することで土地利用が進んでいます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	道路築造率が84%を超え沿道の土地利用が進んでいます。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	一般競争入札で競争性を高めコスト削減に努めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	現在の構造規格に合わせ施工しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	都市基盤が整備されるに従い住宅地の需要が高まり人口増加しているため、事業を継続していく必要があります。ただし、整備箇所が既存住宅地に取り掛かっているため、事業進捗の遅延が懸念されますが、効率的・効果的に事業運営を行い、早期完成を目指します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
平成30年 8月 7日
08時55分26秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001404060 区画整理課桜井換地係
事務事業 02286 桜井換地事業

所属長名 香村正志
担当者 大見徹也
電話番号 0566-71-2261

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	003	経済		
項目（施策）	004	10都市基盤（市街地）		
施策の方針	005	地域拠点（名鉄桜井駅周辺）の整備促進		
事務事業	003	桜井換地事業		
事業期間	平成11年度～平成36年度	26	年間	
実施方法	一部委託			
会計区分	桜井区画整理特区	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	まちづくり	マニフェスト	地方創生	定住・移住促進
根拠法令等	土地区画整理法、大都市法、市条例（施行規程）			
備考				

【事業分析】

対象	桜井駅周辺の土地が
目的	利用増進することができるようになります。
手段	土地区画整理事業により、本市南部の地域拠点として位置付けされた桜井駅周辺の都市基盤整備を行い、安全で快適な住環境を備えた市街地を創出します。
事務内容	桜井区画整理事業の換地に関する仮換地指定、使用収益開始、証明書発行、建物移転補償、保留地分譲、審議会・評価委員会の開催等の事務

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	1,505,684	1,552,550
事業費	0	1,428,824	1,482,620
国庫支出金	0	598,082	325,284
県支出金	0	0	23,580
地方債	0	1,610	0
その他	0	508,636	634,598
一般財源	0	320,496	499,158
人件費計	0	76,860	69,930
正規（人）	0.00	12.20	11.10
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		（実績） 建物移転戸数 34戸 使用収益開始面積 44,890㎡ 保留地処分面積 4,662㎡	（計画） 建物移転戸数 24戸 使用収益開始面積 32,800㎡ 保留地処分面積 7,287㎡

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001404060 区画整理課桜井換地係
事務事業 02286 桜井換地事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
家屋移転率（移転戸数 ÷総戸数（462戸））	%	0.00 0.00	87.90 88.30	93.50 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	事業計画で安城市が施行者に定められています。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	移転等を進め基盤整備をすることで、土地利用が図られています。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	家屋移転率が88%を超え、換地先の土地利用が進んでいます。		
4 効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	集団移転、仮換地変更などにより事業期間短縮に努めています。		
5 公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	補償費算定基準等は統一のため、サービス水準の差はありません。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	都市基盤が整備されるに従い、住宅地の需要が高まり人口増加しているため、事業を継続していく必要があります。ただし、整備箇所が既存住宅地に取り掛かっているため事業進捗の遅延が懸念されますが、効果的・効率的な事業運営を行い、早期完成を目指してまいります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。